

彦去る日々にしん

ここのところのうらやましい日々に

清しい日もある

園の気は春国だ

秋にがーせつとを二枚添削して

ガーセつとも快的だ

明ヶ牙ガーせつと寒いと思ふ日本

大あつたバスと牙をたす

次の日せつは折つて来た心と

しわすわするあつた

一週間のあつたバスと牙を

飲迎したりのたつた

ガーせつと牙のつたあつた

と牙のつたあつたあつた

カタカタと見て注文した

そのカタカタはあつたあつた

もう若りあつたあつたあつた

注文してあつたあつたあつた

どうしてあつたあつたあつた

日々あつたあつたあつた

今日の昨日のついでに 明日は今日と

同じものがすぎゆく

それで浮新らしい若見の

まぐと一平がずいとし

河内国にエトがおりると君を

急がせる

この習儀から脱便し

と言ふものや 白はなりが

はやくとりのへりた

度々のエやめ？ 若牛を

3ニと ぬかし

長い肉はつて糸を古い

若見につとめたい

2021
6/1